

A 赤い糸のある手袋

基礎～標準 1 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。別解・許容は使える表現や内容の例です。完成答案は指定字数・条件を満たしてください。

問1 体験と感想

答え：ウ

解説 母に言われたことは筆者が経験した出来事。「がっかりした」は、それを受けた筆者の感想・気持ちである。

問2 行動と気持ち 解答例 32字

解答例：目立つ赤い糸を恥ずかしく感じ、人に見えないようにしたかったから。

解説 ②の「目立ちすぎる」という感想と、③で笑われると思っていたことを結び付ける。

別解・許容 「赤い丸が目立つのを気にして隠そうとした」なども可。

採点の目安 赤い糸が目立つことを気にし、隠したかったことを含める。

問3 見方の転換

答え：ア

解説 ②では目立つことを嫌がるが、③では左右を見分ける印という、友達の別の見方に気付く。

問4 体験から考えへ

答え：エ

解説 ④の柔らかさや手に沿う形が、⑤の使い手と過ごした時間という考えを支える。具体的な観察と、それを受けた考えを結び付ける。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

A 赤い糸のある手袋

基礎～標準 1 | 解答・解説 | つづき

問5 根拠の抜き出し 19字

答え：新しい物のきれいさには、今も心が動く。

解説 ⑤の初めの一文。手袋を見直しても、新品のよさを否定したわけではない。句点まで含めて抜き出す。

問6 比喩の意味 解答例 49字

解答例：赤い糸で修理したことで、使ってきた時間を大切にしながら、この先も手袋を使い続けられると感じたこと。

解説 ⑤の「その時間」は手袋と過ごした時間。糸で穴をふさぐ具体的な修理を、これまでとこれからのつながりとして表す。

別解・許容 「手袋と思い出とのつながりが、修理によって続くように感じた」なども可。

採点の目安 修理、これまで使ってきた時間、その先も続くつながりを含める。物理的に時間を結ぶという説明にしない。

問7 表現の効果

答え：イ

解説 親指が手を振るように表す擬人法。手袋を親しい相手のように感じる、筆者の見方の変化が伝わる。

問8 考えの変化 解答例 62字

解答例：初めは買い替えたいと思ったが、友達の言葉から赤い糸を見直し、使った時間の表れる手袋を、直しながら使いたいと思うようになった。

解説 ①の買い替えへの期待、③の友達の言葉、④・⑤の時間への気付き、⑥の次の修理への思いを結ぶ。

別解・許容 「古いだけの物から、自分の時間が刻まれた親しい物へ」なども、きっかけと変化が分かれば可。

採点の目安 初めの買い替えたい見方、友達による見直し、使った時間への気付きと親しみを含める。使い続ける意志は必須ではない。

B 録音の外側

基礎～標準 2 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 初めの期待

答え：イ

解説 ①の「帰ってからも、この場所に戻れる」は、録音でその場の感じを味わい直せるという期待を表す。

問2 問題意識

答え：エ

解説 ②では電車の音も虫の声も入っているのに、音量や機器を変えても、その場での感じとは違うと述べる。

問3 具体例の抜き出し 12字

答え：手すりに置いた腕の冷たさ

解説 ③から触覚の例を抜き出す。草の匂いは嗅覚、水面の暗さは視覚に関するもの。

問4 体験の意味 解答例 41字

解答例：風の涼しさだけでなく、夏が遠ざかるような心細さも感じていたことを表したかったから。

解説 ④では単純な温度の感覚だけでなく、そのときの心細い気持ちも思い出す。言葉を選び直す理由を二つの感覚の違いから説明する。

別解・許容 「涼しいだけでは、そのときの心細さまで伝えられないと思ったから」なども可。

採点の目安 涼しさだけでは足りず、夏が遠ざかるような心細さも含むことを説明する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

B 録音の外側

基礎～標準 2 | 解答・解説 | つづき

問5 考えの区別

答え：ウ

解説 ⑤では録音の不十分さを認める一方、録音の再生が、音以外にも記憶していたものを思い出すきっかけになったと述べている。

問6 表現の意味 解答例 53字

解答例：録音された音だけでなく、その場で感じた匂いや冷たさ、心細さなども思い出し、言葉で確かめようとしていたこと。

解説 「耳を澄ます」は音を注意深く聞く動作だが、ここでは記録されていない感覚や気持ちに注意を向けることを表す。

別解・許容 「音に残らなかった感覚や気持ちにも注意を向けていた」なども、字数内で具体化されていれば可。

採点の目安 録音外の感覚・気持ちと、それを思い出して注意深く捉える行為を結ぶ。

問7 結末と考え

答え：ア

解説 ⑥には「まず、今日の風を腕に受けてみたかった」とある。録音を永久にやめるのではなく、先に直接感じることを選んでいる。

問8 体験と考えの関係 解答例 63字

解答例：自分は音以外の感覚や気持ちも含めてその場を味わっており、録音はすべてを残せなくても、それらを思い出す手がかりになると気付いた。

解説 ③の体全体で受け取る感覚と、⑤の記録の限界・働きをまとめる。「記録は役に立たない」と結論付けない。

別解・許容 「記録に任せきりにせず、自分の感覚も確かめたい」なども可。ただし録音の働きを全面否定しない。

採点の目安 その場の経験が音だけではないこと、録音の限界、録音が気付きを促すことを含める。

C 待つ匂い

発展・応用 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 体験と初めの見方

答え：エ

解説 ①の時計を見る行動と「早送りになる場面」、④の「何もすることがないと思っていた」が根拠になる。

問2 経験の具体性

答え：ア

解説 祖母は台所の冷えを気にし、置き場所を変えている。本文は、時間に加えて置かれた環境や生地の状態にも目を向ける様子を描く。

問3 語句の意味 解答例 39字

解答例：変化が分からないように見えた間にも、生地は膨らみ柔らかくなっていたということ。

解説 ③では、待ったあとで丸みと柔らかさに気付く。移動していないという意味の「止まる」ではない。

別解・許容 「待つ間も生地の状態は少しずつ変わっていた」なども可。

採点の目安 目立つ変化がなく見える時間にも、内部や状態の変化が進んでいたことを説明する。

問4 体験の比較

答え：ウ

解説 ③は見た目と手触り、④は匂いの変化に気付く。どちらも、待っている間に進む変化を感覚で受け取った経験である。

C 待つ匂い

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問5 考えの限定 解答例 52字

解答例：パンを待つ体験で見方が変わっても、理由の違う待ち時間すべてに同じ考えを当てはめられるわけではないと示す。

解説 ⑤のバスを待つ落ち着かなさを加え、個人的な発見を「待つことは何でもよい」と一般化するのを防ぐ。

別解・許容 「待つ目的や事情によって感じ方が違うことを示す」なども、前の体験との関係が分かれば可。
採点の目安 パンの体験による気付きと、すべての待ち時間には広げられない限定を結ぶ。

問6 表現と考え

答え：イ

解説 触ったときの具体的な記憶を、⑥では答えを急げない別の場面に向き合う支えとして捉え直す。

問7 考えの範囲 解答例 46字

解答例：返事がない間にも相手が答えを考えている可能性はあるが、実際に何をしているかまでは分からない。

解説 ⑥の「見えない間にも進んでいることはある」を手がかりにする。ただし⑤の限定も踏まえ、相手が必ず考えているとは断定しない。

別解・許容 「質問を調べたり言葉を選んだりしているかもしれないが、事情は確かめないと分からない」なども可。

採点の目安 ①返事前にも考える・調べるなどが進む可能性、②実際の事情は未確認という留保、の両方を書く。

問8 考えの読み取り 解答例 60字

解答例：待つ時間にも変化を感じ取れると気付き、すぐ答えが出なくても待つ余地を持ちたいが、すべての待ち時間がよいとは考えていない。

解説 ①・④の見方の変化、⑥の今後への考え、⑤の限定を結ぶ。単に「辛抱すれば成功する」とすると本文より強い主張になる。

別解・許容 「変化が小さくても進んでいる場合があると考える一方、待つ理由で感じ方は違うと認める」なども可。

採点の目安 何もなかった時間にも変化に気付けるという見方への変化と、すべての待ち時間には一般化しないことを含める。今後の姿勢の明記は必須ではない。

D 名前を知ったあと

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。問6～8は内容点の合計から、字数範囲外なら1点を引きます。各問の下限は0点です。

問1 体験と感想〔10点〕

答え：ウ

解説 ②の初めに「少し得意だった」とある。案内板から名前という知識を得たときの感想である。

問2 行動の理由〔10点〕

答え：ア

解説 ②の「名前を当てると、見る仕事が済んだような気がした」が直接の理由。本文は名前を覚えることと観察することを区別している。

問3 事実と考え〔10点〕

答え：エ

解説 一步出しかけて引っ込めるのは観察した動作。「道を選んでいる」は動作から筆者が受け取った意味。アは筆者自身の動作で、ウは別段落の感想である。

問4 考えの範囲〔10点〕

答え：イ

解説 一回の観察で気付いたことを、その種類の鳥がいつもする行動だと決めつけない。体験の事実を取り消してはいない。

問5 根拠の抜き出し〔10点〕 23字

答え：ハクセキレイは、今日はどんなふう to 歩くだろう。

解説 名前を言い当てるだけで終えず、今日の具体的な動作を知ろうとする問いかけ。句点まで抜き出す。

採点の目安 指定どおり23字で10点。句読点だけの過不足は9点。問いかけの内容は合うが範囲に過不足がある場合は5点。

D 名前を知ったあと

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 比喩の解釈〔15点〕 解答例 53字

解答例：名前を知って分かったつもりになり見るのをやめることと、名前を手がかりに、さらに姿や動作を見ようとする。

解説 ⑤は同じ知識が二通りの働きを持ち得ると述べる。札・入り口という物の説明でなく、知ったあとの見方として言い換える。

別解・許容 「知ったことで観察を終える」対「知ったことから新たな関心を広げる」という説明も可。

採点の目安 分かったつもりで観察をやめること7点、知識を手がかりにさらに見ること8点。共通の字数基準を適用。

問7 呼び名の意味〔15点〕 解答例 45字

解答例：鳥の名前という知識を持ちながら、自分が実際に見た動きへの親しみや関心も大切にしている見方。

解説 「ハクセキレイ」は得た知識、「急ぎ足」は観察から付けた呼び名。名前を忘れたのではなく、知識と自分の体験が共に残る。

別解・許容 「正しい名前も、自分の観察から生まれた見方も生かしている」なども可。

採点の目安 名前という知識を保つこと7点、自分の観察から生まれた親しみや関心を保つこと8点。共通の字数基準を適用。

問8 体験から生まれた考え〔20点〕 解答例 65字

解答例：名前を知ると分かったつもりになりがちだが、目の前の一羽には未知のところがあ
り、知識を手がかりに観察を続けたいと考えるようになった。

解説 ②の観察を終える態度、③の再発見、④・⑤の気づき、⑥の継続する行動をつなぐ。知識そのものを否定する考えではない。

別解・許容 「名前は観察の終点ではなく、新しい発見への入り口にしたい」なども、本文の具体的な変化が分かれば可。

採点の目安 名前を知って分かったつもりになる問題5点、実際の一羽に未知の部分がある気づき5点、知識を生かして観察を続ける考え10点。共通の字数基準を適用。